**認知行動療法トレーニングガイドライン　履修チェックシート**

認知行動療法師の申請には、本学会が定める認知行動療法トレーニングガイドライン基本項目のうち、認知行動療法の基礎に関する5科目と各論のうちから１科目の領域を次のイからハまでのいずれかにより履修していることの証明が必要です。

イ 本学会が主催する研修会、ワークショップ等

ロ 他団体が行った研修会、ワークショップ等のうち本学会が認定した科目

ハ 教育機関において行われた講義、演習、スーパービジョン等のうち本学会が認定した科目

**履修が完了した項目の□にチェックをし、該当する履修方法イ・ロ・ハのいずれかを記入してください。**

【基礎】

□　TG1 認知行動療法の理論と発展　（履修方法：　　　）

□　TG2 ケースフォーミュレーション（履修方法：　　　）

□　TG3 臨床研究の方法論と倫理（臨床実践における倫理を含む）（履修方法：　　　）

□　TG4 面接の構造化と基本的態度・応答技術　（履修方法：　　　）

□　TG5 認知行動療法を構成する基本技法　（履修方法：　　　）

【各論】

□　TG6 ＜各論＞学級集団に対する認知行動療法　（履修方法：　　　）

□　TG7 ＜各論＞就労支援における認知行動療法　（履修方法：　　　）

□　TG8 ＜各論＞不安症への認知行動療法　（履修方法：　　　）

□　TG9 ＜各論＞子育て支援における認知行動療法の適応　（履修方法：　　　）

□　TG10 ＜各論＞職域の予防的取り組みにおける認知行動療法　（履修方法：　　　）

□　TG11 ＜各論＞司法・犯罪分野における認知行動療法　（履修方法：　　　）

□　TG12 ＜各論＞被害者支援における認知行動療法　（履修方法：　　　）

□　TG13 ＜各論＞嗜癖への認知行動療法　（履修方法：　　　）

□　TG14 ＜各論＞うつへの認知行動療法　（履修方法：　　　）

□　TG15 ＜各論＞PTSDにおける認知行動療法　（履修方法：　　　）

□　TG16 ＜各論＞学校での個別支援における認知行動療法　（履修方法：　　　）

**上記でチェックした項目の履修を証明できる書類（修了証等）を必ず提出してください。**

（修了証等の紛失に関しては当事務局では対応しておりませんので各運営事務局へお問い合わせください）